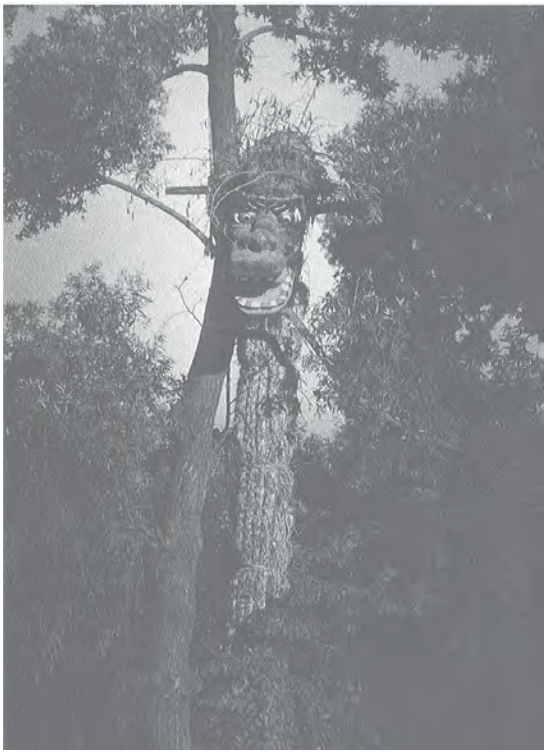
基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	北東北の聖地を巡る

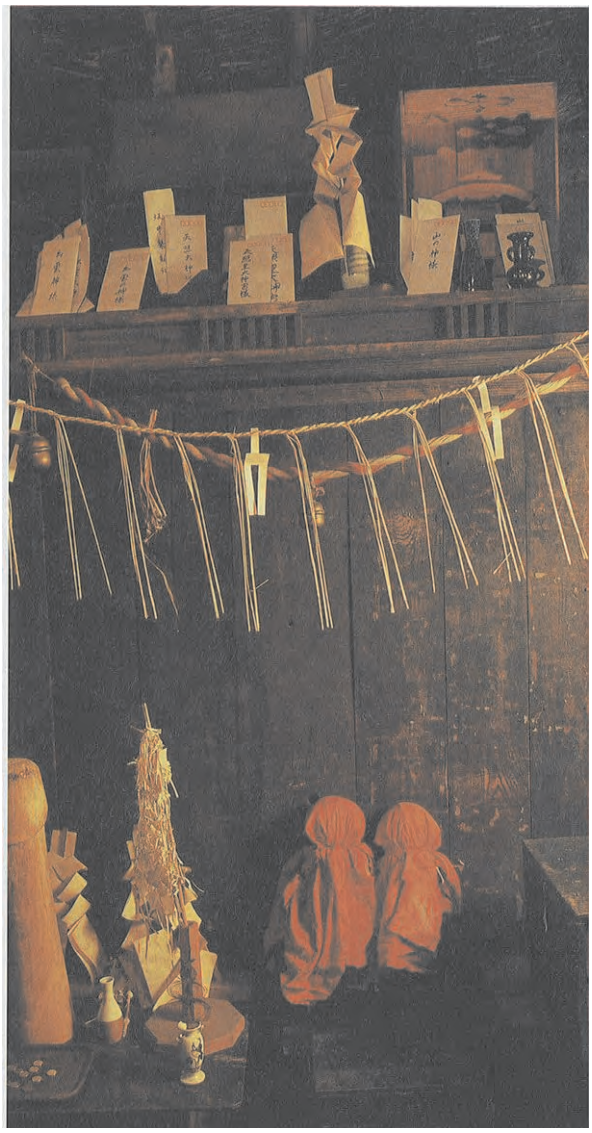
民間信仰

北東北には、自然にまつわる民間信仰が多々存在する。民俗芸能が、自然の恵みや動物の霊魂をおさめるものが多いことにも関係する。

オシラ様

東北一帯の民間信仰の対象。養蚕や家の守護神として屋敷内にまつられ、年に数回巫女によってお祭りがされる。
右の赤い人形が屋敷内のオシラ様。
下は遠野市伝承園・御蚕神堂（オシラ堂）のオシラ様。





左　虫送りの「むし」（青森県柏村下古川）
田植えが一段落する時期（６月）に田祭りとして虫送りを行う。稲を食い荒らす害虫を追い払い、五穀豊穣を祈願する。
（写真初出；「岡本太郎神秘」二弦社）

資料；トランヴェール（JR 東日本発行、2004.11）

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	北東北の聖地を巡る

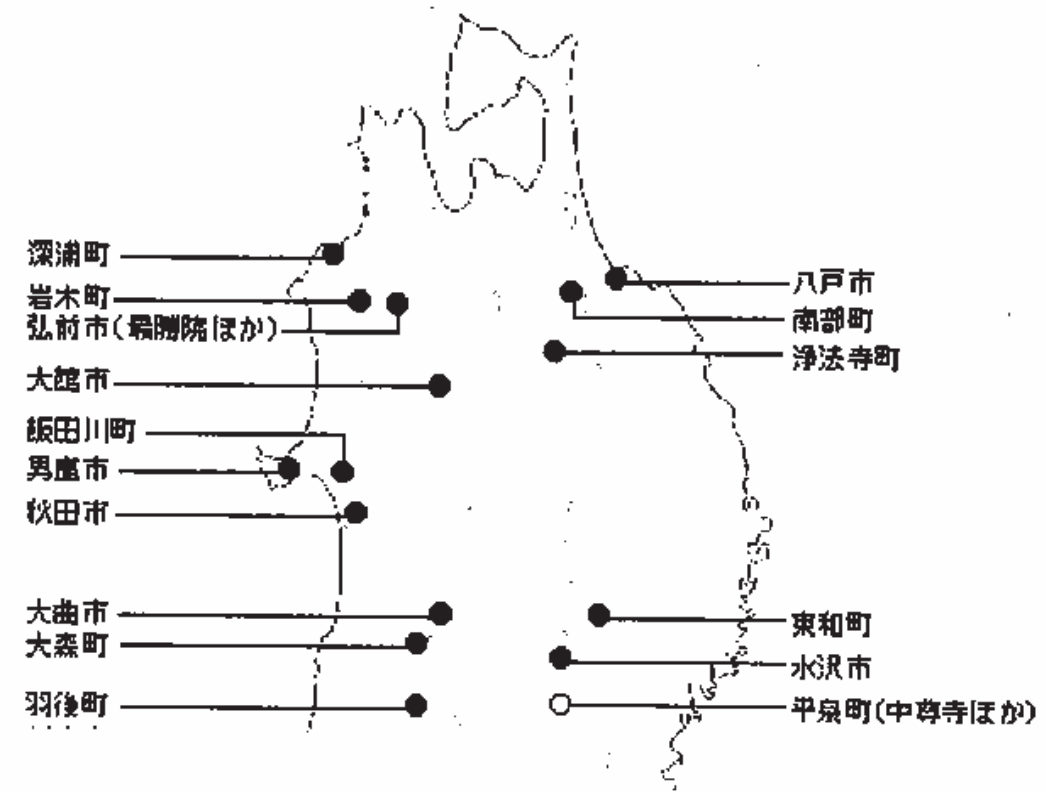
歴史的な社寺（１／２）

東北の仏教は、平安時代に円仁（慈覚大師）によってもたらされた天台密教に由来するものが多い。

東北を代表する寺院である平泉・毛越寺、平泉・中尊寺、松島・瑞巌寺、山寺・立石寺は、いずれも平安時代における慈覚大師円仁の開基に遡るが、これら４ヵ寺の寺地は、平安京にも見られる「四神相応（しじんそうおう）」により選ばれたと言われる。

広大な東北地方ならではの見方であり、地域横断的かつ宇宙的なスケールで自然と調和した空間、景観を認識するものとして注目に値し、北東北における郷土認識の概念を広げるものと言える。

＊四神相応とは、地相からみて、天の四神に応じた最良の土地柄。すなわち左方(東)は青竜に相応しい流水、右方（西）は白虎の大道、前方（南）は朱雀の汚地（おち＝くぼんだ湿地）、後方（北）は玄武の丘陵を有すること。官位・福禄・無病・長寿を併せ持つ地相。



北東北の主な社寺（国指定のもの）　　○は国宝

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	北東北の聖地を巡る

歴史的な社寺（２／２）

■北東北の主な社寺（国宝・国指定重要文化財・霊廟を含む）

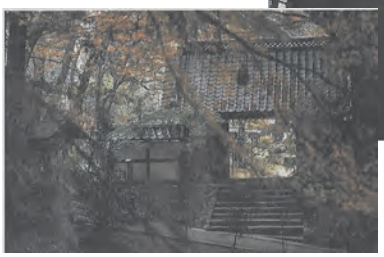
社寺名	対象	所在地	備考
青森県			
最勝院	五重塔	弘前市	
長勝寺	三門・御影堂・本殿・庫裏	弘前市	
津軽家霊屋	環月堂・碧巌堂・明鏡堂・白雲堂・凌雲堂	弘前市	
弘前八幡宮	本殿・唐門	弘前市	
誓願寺	山門	弘前市	
津軽為信霊屋		弘前市	
熊野奥照神社	本殿	弘前市	
清水寺	観音堂	弘前市	
円覚寺	薬師堂内厨子	西津軽郡深浦町	
岩木山神社	拝殿・楼門・本殿・奥門・瑞垣・中門	中津軽郡岩木町	
南部利康霊屋		三戸郡南部町	
革秀寺	本堂	弘前市	
櫛引八幡宮	本殿・旧拝殿・末社神明宮・末社春日社本殿	八戸市	
岩手県			
中尊寺	金色堂・覆堂・経蔵	西磐井郡平泉町	国宝
願成就院	宝塔	西磐井郡平泉町	
釈尊院	五輪塔	西磐井郡平泉町	
正法院	本堂・庫裏・惣門	水沢市	
日高神社	本殿	水沢市	
毘沙門堂		和賀郡東和町	
天台寺	本堂・仁王門	二戸郡法寺町	
秋田県			
天徳寺	本堂・書院・山門・総門	秋田市	
佐竹家霊屋		秋田市	
八幡神社	正八幡宮本殿・若宮八幡宮本殿	大館市	
赤神神社	五社堂内厨子・五社堂（三の宮堂・客人権現堂・赤神権現堂・八王子堂・十禅師堂）	男鹿市	
古四王神社	本殿	大曲市	
神明社	観音堂	南秋田郡飯田川町	
波宇志別神社	神楽堂	平鹿郡大森町	
三輪神社	本殿・境内社須賀神社本殿	雄勝郡羽後町	

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	北東北の聖地を巡る

義経ゆかりの平泉の古寺と周辺の風景

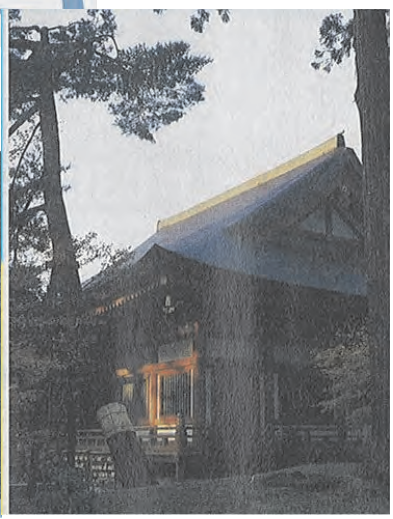
・東北を代表する古寺である、中尊寺、毛越寺（岩手）、瑞巌寺（宮城）、立石寺（山形）の四寺。
・いずれも平安時代に円仁が開基し、その後東北の礎となる歴史を築いたという共通の来歴を持つ。これら４ヵ寺の寺地は、平安京にも見られる「四神相応（しじんそうおう）」により選ばれたと言われる。
・また、平泉の古寺周辺は、藤原秀衡が宮本義経を迎え入れた地でもあり、北上川の流れを見下ろす一帯の高台は、松尾芭蕉が「夏草や兵どももが夢の跡」の名句を詠んだ場所である。

■中尊寺



■達谷窟毘沙門堂

■毛越寺



資料；トランヴェエール（JR 東日本発行、2005.1）

基本テーマ	自然を敬い共生する	サブテーマ	北東北の聖地を巡る

四寺回廊

○四寺回廊スタートの報道

「岩手日日ニュース」より

2003／4／3

＜平泉・中尊寺が観光イベント「四寺回廊」を企画＞

平泉町の中尊寺は十五年度から、同町の毛越寺と宮城県松島町の瑞巌寺、山形県山形市の立石寺と合同で四寺を巡る観光イベント「みちのく古寺巡礼・四寺回廊」を繰り広げる。連携した古寺巡りのコースを開設し、慈覚大師・円仁を開祖に東北地方、地域を照らし続けている歴史を多くの人に理解してもらおうという広域企画。六月中旬の開始予定で、息の長い活動として定着を目指す。

四つの寺はいずれも、平安時代に円仁が開いたとされる古刹（こさつ）で、毎年多くの参拝客や観光客が足を運んでいる。江戸時代の俳人・松尾芭蕉も訪ねた四つの寺院が連携した取り組みで、各地域の活性化に貢献しようと中尊寺が企画。三寺の賛同を得て実現した。

境内の景観保護や環境整備といった各寺の事務的な取り組みについても情報交換を進め、交流を深めたいという狙いもある。

四寺回廊事業では、瑞巌寺境内の梅「臥龍梅（がりゅうばい）」に「佛（仏）」「法」「僧」「宝」の四文字を彫り込んだ御朱印を各寺に備え、観光客に印を集めてもらう。御朱印帳には各寺を巡った日付が書き込められるようになっており、最後に巡った寺で結願の印をもらって完成する。結願を迎えた寺でお守りなどをプレゼントすることも考えている。

円仁が中国に向けて乗船した六月十三日に合わせ、事業を始める。前日の十二日には立石寺で慈覚大師報恩法要、御朱印の開眼法要を四寺の貫首（主）、住職がそろって営む予定だ。

長引く景気低迷で、東北地方の経済や地域住民の活気は薄れている感が強い。回廊事務局の中尊寺は、「こうした世の中だからこそ、天災を受けた地域に遠方から救いの手を差し伸べた円仁の教えを伝える古寺巡りが大切。息の長い活動で、東北地方を代表する巡礼コースに育てたい」と話している。

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

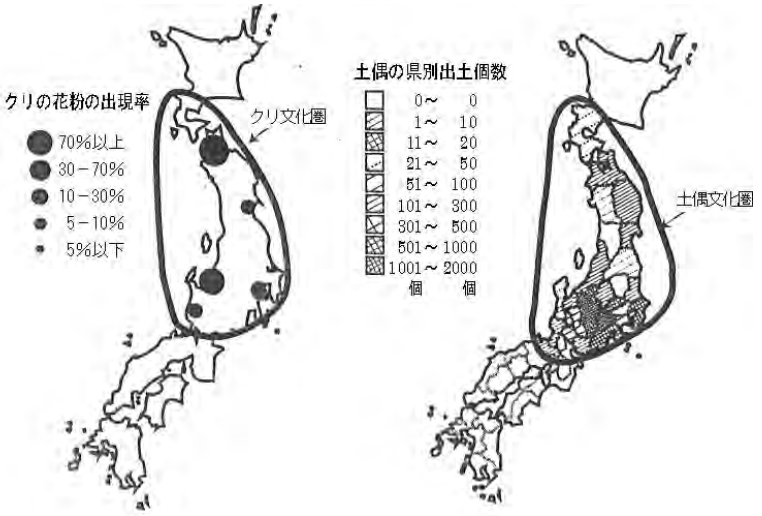
縄文遺跡（１／４）

東北地方には先史時代の縄文遺跡が集中的に分布し、わが国の原点探求の中心的存在として脚光を浴びている。

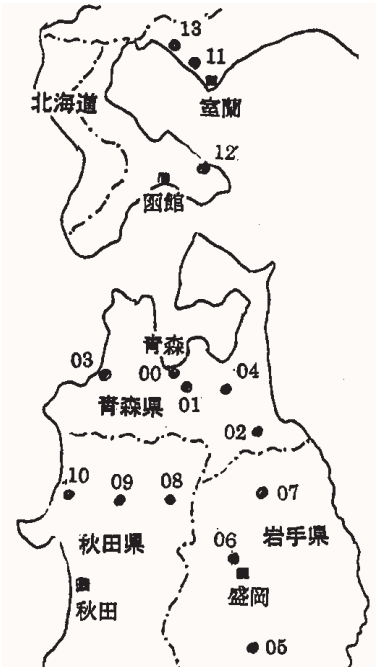
岡本太郎は縄文に極めて強い影響を受けた。東京国立博物館ではじめて縄文土器を目にした岡本太郎は「なんだ、これは！！」と叫んだとのこと。昭和 27 年の美術雑誌「みづゑ」に「・・思わず叫びたくなる凄み・・・重厚、複雑な、いやったらしいほどたくましい美観・・・」と表現している（資料；トランヴェール 2004．11）。大阪万博のお祭り広場にそびえる「太陽の塔」も、その影響による作品である。

青森・三内丸山遺跡等の発見、発掘は、縄文人の生活についての新たな知見をもたらし、遠く隔たっていた縄文を身近に感じさせ、縄文と現代のつながりを強く再認識させるものとなった。三内丸山等で復元された縄文の建物や集落の景観は、先史時代に自然との共生により栄えた東北の文化の姿を彷彿とさせ、さらには東北全域にわたって地下に眠る縄文の世界へと想像を掻き立てるものとなっている。

北東北は、縄文文化圏の中でも、「円筒土器文化圏」と呼ばれる、独自の文化圏を形成していたことが明らかになってきた。



縄文時代中期のクリ文化圏（左）と土偶文化圏（右）の一致（安田，1995）



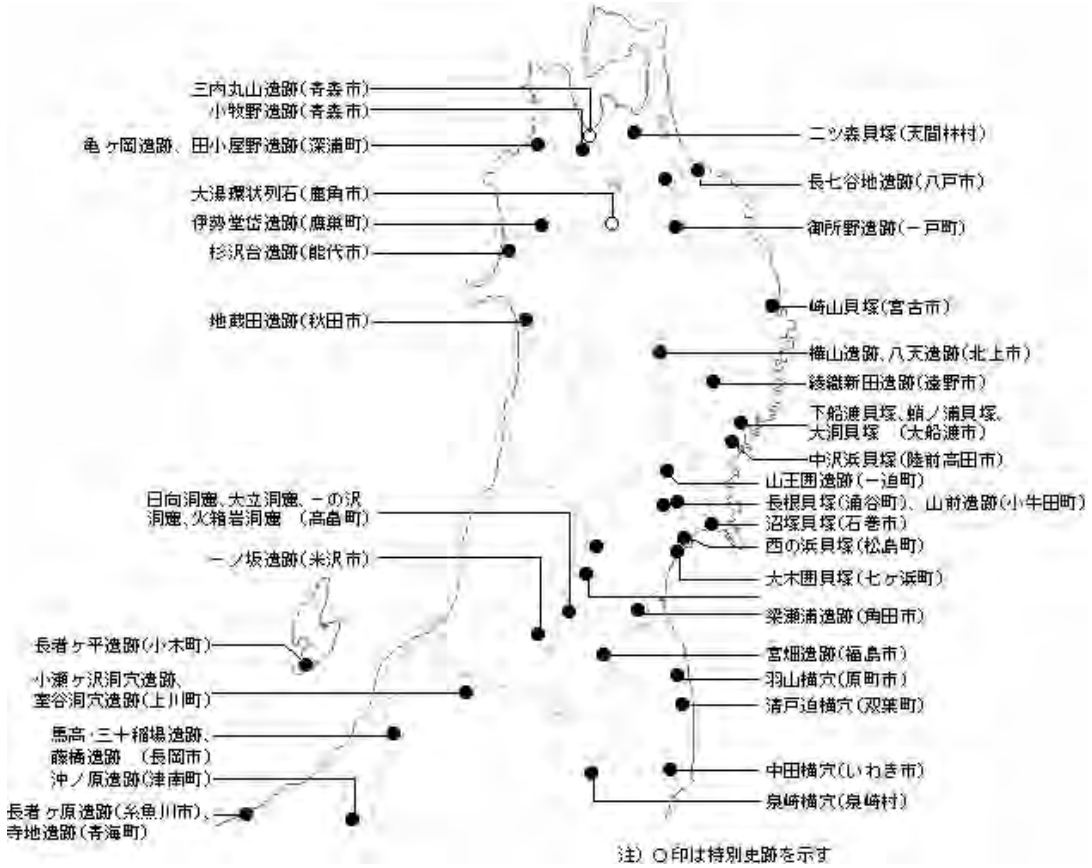
青森県	岩手県	秋田県	北海道
00 三内丸山遺跡	05 樺山遺跡	08 大湯環状列石	11 北小金貝塚
01 小牧野遺跡	06 湯舟沢Ⅱ遺跡	09 伊勢堂岱遺跡	12 大船 C 遺跡
02 是川遺跡	07 御所野遺跡	10 杉沢台遺跡	13 入江貝塚
03 亀ヶ岡遺跡			
04 二ツ森遺跡			

円筒土器文化圏の
主な縄文遺跡

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

縄文遺跡（２／４）

■東北地方の主要な縄文遺跡（国指定のもの）



■北東北３県の国指定遺跡

	遺跡名	所在地	指定
青森県	三内丸山遺跡	青森市三内丸山	2000 年国特別史跡
	小牧野遺跡	青森市野沢	1995 年国史跡
	亀ヶ岡石器時代遺跡	西津軽郡木造町	1994 年国史跡
	田小谷野貝塚	西津軽郡木造町	1994 年国史跡
	長七谷地貝塚	八戸市市川町	1981 年国史跡
	二ツ森貝塚	上北郡天間林村	1998 年国史跡
岩手県	下船渡貝塚	大船渡市大船渡町	1934 年国史跡
	蛸ノ浦貝塚	大船渡市赤先町	1934 年国史跡
	中沢浜貝塚	陸前高田市広田町	1934 年国史跡
	樺山遺跡	北上市稲瀬町	1977 年国史跡
	八天遺跡	北上市更木町	1978 年国史跡
	御所野遺跡	二戸郡一戸町	1993 年国史跡
	崎山貝塚	宮古市	1996 年国史跡
	大洞貝塚	大船渡市	2001 年国史跡
	綾織新田遺跡	遠野市	2002 年国史跡
秋田県	大湯環状列石	鹿角市	1956 年国特別史跡
	杉沢台遺跡	能代市	1981 年国史跡
	地蔵田遺跡	秋田市	1996 年国史跡
	伊勢堂岱遺跡	北秋田郡鷹巣町	2001 年国史跡

資料；縄文の風景 HP、文化庁

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

縄文遺跡（３／４）

北東北の縄文遺跡の多くは、周辺に、縄文時代の暮らしを支えた自然とともに存在している。

■三内丸山遺跡

縄文時代中期（約 5500～4000 年前）の大集落跡や、平安時代（約 1000 年前）の集落跡、さらには中世末（約 400 年前）の城館跡が、周囲の自然も含めて残っている

大型竪穴住居跡

倉庫群

大型掘立柱建物復元

万座環状列石

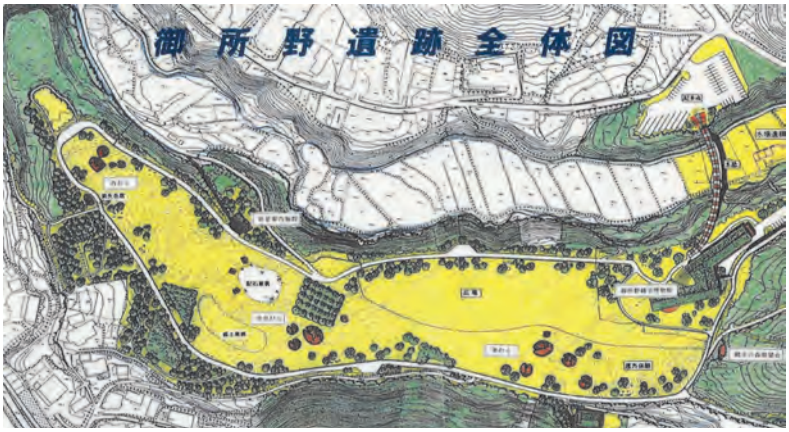
■大湯環状列石

縄文後期の約 4000 年前につくられた遺跡。２つの環状列石と、その中心から見て北西に「日時計状組石」が作られている。安産を祈願した土偶や豊漁を祈願した品々、子供の成長を願う足型石製品などが発掘されている。列石の多くは墓。

野中堂列石の日時計状組石

■御所野遺跡

縄文時代中期後半（4000～4500 年前）の大規模な集落。林の中に突然発見された。
平成元年から発掘が行われている。周辺に今も豊かなくり林が広がり、縄文時代の人々の食生活を思い描くことができる。



周辺に緑が残る遺跡の全体像　今は公園として復元されている

クリ林と村の様子

資料；各遺跡 HP

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

縄文遺跡（４／４）

■縄文遺跡からの出土品

北東北特有の
円筒縄文土器
（森田村）

遮光器土偶
亀ヶ岡式の代表的土偶
祭事用に使われたと見
られる。サングラスの
ような遮光器をつけた
ような形が特徴

十字型土偶（三内丸山）

赤漆の土器（是川遺跡）

合掌する土偶（是川遺跡）
写真は学習館に展示されるレプリカ

是川遺跡から出土した土偶の数々

資料；青森県資料、トランヴェール（JR 東日本発行 2004.11）

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

縄文をテーマとする研究交流活動（１／３）
NPO「三内丸山縄文発信の会」の活動

■三内丸山縄文発信の会の概要

1995 年に発足した「三内丸山縄文発信の会」は、全国に会員がおり、東京支部、大阪支部などができ、「縄文塾」というミニフォーラムを定期的に開催し、勉強会および会員同士の情報交換を行ってきている。その中で、「三内丸山遺跡を訪れたことがないので機会があればぜひ行きたい」、「何度か訪れているが、年に一度くらいは行きたい」という会員からの要望が相次いだ。そこで、縄文遺跡・三内丸山遺跡に親しみ、関心を深める機会であり、地元青森の会員との交流も兼ねた「三内丸山で会いましょう」という交流会を 1999 年９月の満月の日に開催。以後毎年続けて開催し、これまでは、青森県などが中心となり開催している「三内丸山縄文フェスタ」の一環として行われてきた。この催しは、三内丸山縄文発信の会会員のみならず、学識経験者や地元関係者のボランティア活動に支えられて、毎年行われているものであり、年々参加者が増加し、関東や関西などからも参加者がある。

2002 年９月 21～23 日には、三内丸山遺跡（青森市）、大湯環状列石（秋田県鹿角市）、御所野遺跡（岩手県一戸町）の三遺跡が連携し、３日間にわたって開催され、テーマに沿ってそれぞれの地域で縄文フォーラムおよび各遺跡に携わっているボランティア同士の交流や、遺跡訪問ツアーも行われた。

■主な活動

記録する

三内丸山遺跡をめぐる専門情報、一般情報を網羅した「三内丸山縄文ファイル」の通信を定期的に発行する。三内丸山カタログを発行する。三内丸山遺跡発掘とそれにかかわる活動の編年史のための情報交換を行う。

発信する

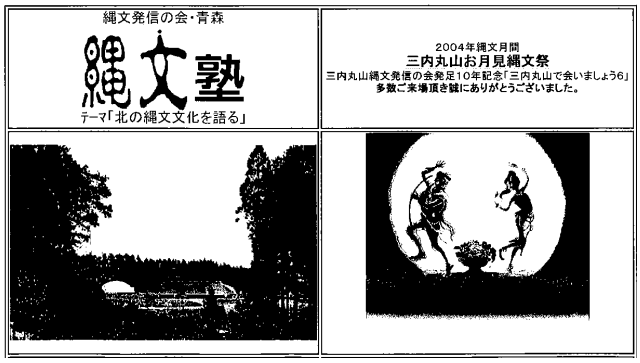
英訳を併載した「三内丸山縄文ファイル」を会員をはじめ、全国及び世界の関連機関に送付し、縄文情報を発信する。将来、パソコン通信のネットワークをめざす。

交流する

縄文の情報をもとに、各ジャンルの人々の意見の交流を大いにはかるため、縄文デザイン会議を開く。

創生する

以上の活動を通して、将来の縄文博物館の創生をはたらきかける。



資料；三内丸山縄文発信の会 HP

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

縄文をテーマとする研究交流活動（２／３）
NPO「三内丸山縄文発信の会」の活動

■縄文週間の概要

資料；縄文週間パンフレット

基本テーマ	縄文文化を伝える	サブテーマ	ふるさとの原点・縄文ワールド

縄文をテーマとする研究交流活動（３／３）
NPO「三内丸山縄文発信の会」の活動

■活動・事業実績（平成１５年以降の活動）

1 月 31 日	●第 36 回縄文塾＜第 19 回東京支部例会＞（東京・中央区）『最新情報・縄文のクリ』講師：佐藤洋一郎
5 月 16 日	●第 37 回縄文塾＜第 20 回東京支部例会＞（東京・中央区）
6 月 1 日	●第 38 回縄文塾＜仙台支部発足記念＞（宮城県仙台市）『東北の縄文文化』
9 月 13 日	●三内丸山お月見縄文祭
9 月 13 日	●第 39 回縄文塾＜青森・（青森・三内丸山遺跡）『縄文すろーらいふ』
10 月 17 日	●第 40 回縄文塾＜東京支部第21回例会＞（東京・中央区）『北の縄文文化』～南茅部町縄文遺跡群
平成16年（2004年）予定	
2 月 6 日	●第 41 回縄文塾（東京・中央区）『遺跡の年代ものさしを変える～新しい時代の縄文観～』

■北東北における縄文を学び・体験することのできる主な機関・施設

〇縄文時遊館（三内丸山遺跡内にあり縄文食も楽しめる　青森市　tel　017-766-8282）

〇青森県郷土館（縄文遺跡の出土品など　　青森市　tel　017-777-1585）

〇八戸市縄文学習館（土器づくりや野焼きが体験できる　八戸市　tel　0178-96-1484）

〇木造町縄文住居展示資料館・カルコ（津軽の縄文文化を知る　木造町　tel　0173-42-6490）

〇盛岡市遺跡の学び館（出土品の展示のほか、体験学習ができる　盛岡市　tel　019-635-6600）

資料；三内丸山縄文発信の会 HP